

第541回 難研セミナー

第114回 難治疾患共同研究拠点セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日時：平成27年10月29日（木） 17:00 ～ 18:00

場所：M&Dタワー21階 大学院講義室1

演者：石田 紗恵子先生（フランス脳脊髄研究所（ICM）研究員）

演題：てんかんの遺伝学とラットモデル

要旨：

「てんかん」は、人口の約1%に生じる頻度の高い神経疾患であり、全体の約30%は抗てんかん薬が効かない難治性である。近年、腫瘍などの病変が認められない「特発性てんかん」の病因として特定の遺伝子の変異が報告されている。

ヒト神経疾患研究におけるモデル動物には、遺伝素因と環境素因を制御することができ、解剖学的解析や個々の神経レベルにまで評価が可能であることが求められる。げっ歯類、特にラットは、適当な大きさの哺乳動物であり、詳細な脳アトラスを用いた電気生理学的解析、免疫組織学検査、認知行動学試験、薬理薬効試験などを実施する上で、最も適した試験研究用動物として多用されてきた。

本セミナーでは、近年同定されたてんかん原因遺伝子およびてんかんモデルラットを用いた研究を紹介する。

連絡先：分子神経科学分野・田中光一（内線：5846）

共催：神経病理学分野・岡澤均（内線：5847）